

事業所理念		・子どもの生き抜く力を育み、誰もが人格と個性を尊重し合い、安心・安全に過ごしながらコミュニケーション能力の向上や社会性の大切さを伝えていきます。		
支援方針		・子どもの発達過程や障がい種別、障がい特性を理解して、子どもが他者との信頼関係の形成を経験したり、基本的日常生活動作や自立生活を支援していきます。また、他児と共に過ごすことの心地よさや楽しさを味わうことで、人と関わることへの関心が育ち、コミュニケーションをとることの楽しさを感じることができるような支援を目指します。		
営業時間		8時30分 ～ 17時15分	送迎実施の有無	なし
		支援内容		
本人支援	健康・生活	・意欲的に活動に気持ちが向くように、基本的な生活習慣や生活リズムが整うように保護者と連携していきます。 ・様々な遊び（手先の活動や運動遊び）を通して身の回りのことを少しずつ自分でできる力を育てています。		
	運動・感覚	・マッサージでは親子でのかかわりを大切にし、脱力してリラックスできる体を作れるようにしています。リズムや運動遊びでは、音に合わせて体を動かしたり、様々な運動用具に合わせてバランスを取ったり体をコントロールするなど、体の基礎となる土台を作っています。		
	認知・行動	・物事をどう捉えているか、どうしてその行動をとるのか、認知や行動の特性を理解してかかっています。 ・見てわかる視覚的な手がかり（絵、写真、見本）を提示し、繰り返しの活動の中でわかってできることを増やしています。		
	言語・コミュニケーション	・一人一人の発達段階や興味関心に合わせて、楽しい遊びを工夫する中で伝えたい気持ちを育てています。また、指さしや身振り手振り発声など一人一人の表現方法を丁寧に受けとめて、応えていくことで、やり取りの楽しさを知らせています。必要に応じて「〇〇したかったんだね」等と言語化し感情や体験、言葉の意味を結びつけるように支援します。		
	人間関係・社会性	・相手の存在を認識したり受け入れることから始める等、遊びを通して他者に興味・関心を持つことができるよう関わっています。 ・安心して関われる大人との関係の中で人が好きと思えるようにかかわり、1対1の関係から大人と一緒に友達と遊ぶ楽しさに繋がるように遊びを工夫しています。		
家族支援		・何らかの原因で発達に遅れがあったり、バランスが悪かったりする子どもが保護者と一緒に通園するなかで、子どもの特性を保護者が理解し、その子どもにとって望ましい子育てができるよう家族の支援を行います。		
移行支援		・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。併行利用の場合は、併行先と連携し、支援内容の共有をしていきます。・相談支援専門員や他関連機関との連携を図り、支援体制を構築します。		
地域支援・地域連携		・地域の幼稚園や保育園、関係機関等と連携をとり誰もが安心して地域で生活できるような支援をします。		
職員の質の向上		・療育の振り返りをする中で、支援者のかかわりや子どもの行動を正しく評価し次の支援に生かしています。 ・外部研修や職員会での研修を受講し、障がい種別や障がい特性に応じた支援や発達段階に応じた支援、家族支援などに係る適切な知識・技術の習得していきます。		
主な行事等		・内科検診・歯科検診（こまどり号）・七夕まつり・運動会・クリスマス・ひなまつり・交流保育・保護者研修		